

はっぽう

議会だより

収穫真っ盛り！生薬畑のカミツレ



6月
定例会

- 6月定例会ダイジェスト 2ページ～
- 町政を質す 一般質問5名が登壇 6ページ～
- 起こす継ぐ「レンチナス奥羽伊勢株式会社」 …16ページ～

起こす
継ぐ

町の産業を担う
若手経営者たち

第9回

レンチナス奥羽伊勢株式会社

代表取締役 ^い伊勢 ^{はやと}隼人さん

今回は峰浜地区石川で椎茸栽培に取り組む、伊勢隼人さんにお話を伺いました。

隼人さんは、平成18年に父親が経営する「奥羽しめじ生産組合」が、椎茸栽培に切り替えるタイミングで就農。その後令和2年に、菌床製造棟・椎茸培養棟と栽培棟を整備し、父親に代わり代表となりました。

そして令和4年に黒椎茸栽培を自社商品として取り組み、昨年法人化。現在では社員数13名とのこと。

黒椎茸を町の特産品にしたいとの思いから、生産量を増やすため他の若手栽培農家に菌床を提供し、徐々に生産量を増やしています。そんな隼人さんですが、まだまだ現状には満足していない様子。

徳島やいわき市の大きな生産地を視察した時、八峰町の椎茸栽培農家は元気がないと感じたそうです。

今後の目標を聞くと、「自分が椎茸栽培のリーダーとなり、八峰町を元気にしたい。自分たちが頑張って様々な販売ルートを確認出来れば、町の椎茸農家も盛り上がるのでは。」、また「椎茸の



生産量が20億円を超えれば、町単位で日本一となる。そこを目指したい。一日2t～3t販売できる取引先も確保出来ている。」と力強く話してくれました。

新たな取り組みとしては、椎茸栽培に伴う大量の廃菌床を活用したビジネスを模索しているとも。

最後に町に対する要望を聞くと、「輝サーモン」や「黒椎茸」など町のブランド品の販売先確保に力を入れてほしいとのこと。

プライベートでは、「X JAPAN」のコピーバンド「X ISHIKAWA」をはじめ、消防や駒踊り・野球にと町を盛り上げ多忙な日々を送っています。

チャレンジを続ける若き起業家を、これからも応援していきたいと感じました。

(取材：笠原 吉範)



肉厚の黒椎茸

住所 〒018-2504
秋田県山本郡八峰峰浜石川字石川430-3
TEL 0185-88-8918

● 議会広報編集委員会
委員長 山本 優人
副委員長 奈良 聡子
委員 笠原 吉範
委員 伊藤 一八
委員 見上 政子

合併後初めて無投票となった選挙から2年が経過し、任期の折り返しの年となりました。八峰町議会では、昨年の12月定例会後に議会改革検討特別委員会を設置し、全国的に問題となっている成り手不足解消に向け、議員定数や報酬、本会議の音声・録画配信の方法等、各定例会後に議論を行っています。

委員会を通して感じるのは、開かれた議会にして広く議員活動をみなさんに周知する必要性です。

今後、議会への関心を高めるためにも、議員の本会議以外の活動報告の掲載、本会議の音声・録画配信の早期実現に向け議論を重ねてまいります。

(記 伊藤 一八)

編集
後記



令和5年度 一般会計補正予算（第11号）※専決処分		
補正前	今回補正額（減額）	合 計
91億3,859万7千円	▲1億8,445万1千円	89億5,414万6千円
【主な補正予算の概要】（全員賛成で承認） ・令和5年度の事業の確定に伴う負担金や補助金、事業費などの減額		
令和6年度 一般会計補正予算（第1号）		
補正前	今回補正額（増額）	合 計
64億490万円	5,391万1千円	65億291万1千円
【主な補正予算の概要】（全員賛成で可決） ・新型コロナウイルスワクチン接種業務 1,800万6千円 ・町村電算システム共同事業組合負担金 2,058万3千円		

補正予算

あり、介護サービスを受ける人には、地域包括支援センターを紹介している。

（全員賛成で承認）



議会の1日目は、町が取り組んでいる事業の現状や諸般の報告を、「行政報告」として町長が行います。

6月 定例会ダイジェスト

専決処分		契 約	
条 例	R5補正	物品取得	工 事
4件	2件	1件	1件
R6補正	条 例	陳 情	人 事
5件	1件	1件	13件

6月定例会（6月12日～14日）では、農業委員の任命など、次の議案を審議しました。

町長の行政報告から

定住促進住宅は12月完成予定

旧峰浜庁舎の跡地を活用した「定住促進住宅」の地鎮祭と安全祈願祭が5月15日に行われた。建物の完成は12月頃の見込み。

今年の水稲作付面積

昨年の豪雨災害の影響で作付ができない水田も一部あるが、作付面積は前年度とほぼ横ばい。

輝サーモン順調に生育

輝サーモンは約5カ月の養殖期間を経て、4月26日から3回に分けて水揚げされた。今年の生存率は92・7％と、昨年の約60％を大きく上回る結果となった。

八峰能代沖洋上風力発電の事業者決定

事業者が「合同会社八峰能代沖洋上風力」に決定された。環境への影響資料縦覧は7月中旬に開始予定で私からは地域住民・漁業関係者などへの丁寧な説明をするようお願いした。

町の学校のこれからを検討

教育委員会で「学校適正化検討委員会」を設置。まずまず進む児童生徒数の減少に対し、委員から様々な意見が出された。町民からも意見を募集し、教育環境を考えていく。

議会から町へ（質疑）

質問 災害復旧事業は次年度以降に繰り越すと思うが、今後の見通しについて。

答弁 令和4年度の災害箇所について、町道白神二ツ森線3箇所の内、1箇所は工事完了したが、残り2箇所は5年度災害の復旧工事を経ないと着工できない場所にある。

小入川は現在、国や県と協議中。町道小入川岩館線は、現在工事を進めている。

質問 町の歳入にも関わる能代カントリークラブは依然閉鎖されている。管理されない状態が長引くと再開が難しくなる。

答弁 再建に向けた株式会社設立され、旧経営者の破産管財人と包括譲渡契約を締結したとの報告があった。

質問 夢ある園芸産地の補助金と半農半Xの増額があるが内容は。

答弁 夢ある園芸産地創造事業については、1名の農家がネギの機械導入を検討している。半農半Xについては宿泊費も補助金の対象となると国から指導があったため、その分の増。

※専決処分とは
緊急を要するなど、町長が議会の議決を得ずに事件を処分（決定）すること。

一般議案

令和6年の納税分から

住民税1万円を減額（定額減税）

議案の内容

○住民税の納税者から1人あたり住民税1万円が減額される「定額減税」を実施するための条例改正。

【対象者】令和5年度の合計所得金額が1805万円以下で、令和6年度住民税の所得割を納税している人。

（全員賛成で承認）

介護施設、介護従事者の

運営基準などを見直し

議案の内容

○介護施設の運営基準や、ケアマネジャーの業務基準の見直しなどの条例改正。

議会から町へ（質疑）

質問 身体拘束についての基準は。

答弁 基本的には行わないことになっているが、緊急的に身体拘束をしなければいけない場合は、状況・理由などを記録しなければいけない。

質問 町のホームページから介護施設の入居状況などを検索できないか。

答弁 町はあくまで介護施設を監督する立場で

人事

○八峰町農業委員会委員

稲田 豊美 氏	八森 3	（再任）
石岡 てつ 氏	本館	（新任）
森田 貞子 氏	三ツ森	（再任）
白鳥 恭悦 氏	大槻野	（再任）
阿部 幸樹 氏	水沢上	（再任）
田村 政彦 氏	大久保岱	（再任）
今井 幸恵 氏	埴	（新任）
小沢 重博 氏	石川	（再任）
後藤 豊 氏	畑谷	（再任）
佐藤 浩則 氏	石川	（再任）
米森 雄大 氏	石川	（再任）
松森 正樹 氏	大信田	（再任）
後藤 信孝 氏	沼田	（再任）

（すべて全員賛成で同意）

2024年4月以降の新型コロナワクチン接種	
接 種 費 用	無料から有料へ
定 期 接 種	・65歳以上の方 ・60歳から64歳までの一定の基礎疾患を有する方
接 種 費 用 自 己 負 担 額	医療機関が定める接種料金から国と町が負担する1万1,800円を差し引いた額。 ※生活保護受給者は無料
任 意 接 種	本人の希望に基づいて全額自己負担で受ける接種

9月定例会では、令和5年度決算を審議します

決算と議会の関係

自治体である八峰町は、住民の皆さんへの住民サービスを提供するために税金や交付金などの予算を管理しています。町の予算が、公正で合理的・効率的に使われているかを、町民の代表である監査委員と議員で構成される委員会で審査します。

決算認定の流れ 税金や交付金などがどう使われたか

監査委員による決算審査

*住民と議員から1名ずつ選出された監査委員が、前年度のお金の出入りを審査。
町に審査報告書を提出。

7月～8月

決算特別委員会による審査

*決算特別委員会を設置し、監査委員からの審査報告と町から提出された決算資料を審査。
必要に応じ町に付帯意見を提出。

9月議会定例会

9月定例会での決算審査の流れ



(議会前)監査委員による決算審査

資料による審査
の他に、工事などの現場もチェックします。



特別委員会による審査

担当課から説明を受け、適正に予算が使われているか審査します。



決算に対する討論・採決

賛成

反対



町長へ意見・提言を提出

適切な予算運営と、意見への回答をお願いします。

閉会

議会はどなたでも傍聴(会場で直接聴くこと)ができます。

当日、会場に来ていただければ傍聴席にご案内します。9月議会定例会の日程は、14ページに載っています。

契約

町道目名湯大沢線の道路を改良工事

(議案61号 工事請負契約の締結について)

議案の内容

○交差点がせまく通行に支障があり、地元から改良の要望が出ていた区画を改良工事する。

契約の相手方

株式会社 嶋田建設
契約金額 5500万円
(全員賛成で原案可決)



改良される田中地区の交差点

小型動力ポンプ積載車3台を購入

(議案59号 物品の取得について)

議案の内容

○消防車両が、購入から20年以上経過しているため、3台を石川・畑谷・八森の消防団に配置。

契約の相手方
株式会社 能代消防センター
契約金額 3097万5000円
(全員賛成で原案可決)

陳情

●公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情

陳情の内容

○地方自治体が発注する公共工事業などにおいて、労働者の賃金が低く抑えられることのないよう、労働報酬下限額を定めた公契約条例の制定を求める。
(賛成少数で不採択)

賛成討論

見上

公共工事や委託事業において労働者の賃金を確保すべき。

反対討論

山本 事業者などへの業務負担の増、公共工事価格の高騰、民間工事の受注減が想定される。

令和6年第2回臨時会

臨時交付金関連等の補正予算

7241万6千円を追加

補正内容

●新たに住民税が非課税及び均等割のみとなった世帯に1世帯当たり10万円を給付。同世帯に18歳以下の子がいる場合は、一人当たり5万円を追加給付。

●納税額が定額減税額を下回ると見込まれる所得税及び住民税の納税者に差額分を給付。千円以下の端数がある場合は、1万円単位に切上げ。

●キリンビールからの花火助成金80万円を実行委員会に交付。

●児童・生徒・園児へのクマよけ鈴を購入。

質疑 非課税等の情報は何年の収入で算定するのか。

答 令和6年度課税分で、5年中の収入。

質疑 キリンビールからの助成が決まったことで、町の持ち出しを減額するのか。また、来年度も応募するのか。

答 予算措置しているものに追加して交付。

答 同じものに応募しても続けての採択は難しく、代わるものがないか情報収集し検討したい。

質疑 クマ対策はクマよけ鈴の配付だけでは充分とはいえない。登下校のスクールバス送迎が必要では。

答 クマよけ鈴は対策の一つとして実施。スクールバス送迎等他の対策については、適正化検討委員会等で協議したい。
(全員賛成で可決)

賛否が分かれた陳情の採決結果

○：賛成 ●：反対

今回賛否が分かれた陳情を掲載しています。その他の議案等はすべて全員賛成で可決されました。議長は採決には加わりません。

議案	議員氏名	笠原吉範	伊藤一八	奈良聡子	芦崎達美	水木壽保	菊地薫	腰山良悦	見上政子	須藤正人	門脇直樹	山本優人	皆川鉄也	議長	議決結果
公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情		●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	議長		不採択

ここが聞きたい

ただ 町政を質す!!

5名の議員が一般質問

一般質問では5名の議員が町政について質問しました。

p 7 山本 優人 議員

- 1 洋上風力発電に係る 貢献策等について
- 2 教育委員会の行事等の認識について

p 10 伊藤 一八 議員

- 1 児童生徒の登下校時の熊対策は
- 2 スクールバス運行について

p 8 奈良 聡子 議員

- 1 学校適正化検討委員会と 学校の将来像検討について
- 2 猫の飼い主への指導と 糞尿等への対策について

p 11 見上 政子 議員

- 1 国民健康保険の 資格証明書を廃止し要綱改正を
- 2 自衛隊へ自衛官の募集対象名簿 提供を拒否する申請手続きを明確に
- 3 障がい者の雇用促進を
- 4 公有地周辺の草刈り整備は 町の顔といえる

p 9 水木 壽保 議員

- 1 埴川の改修工事を早急に

一般質問とは？

町のさまざまな課題について、議員が住民の声や自身の考えを元に、提案も含めて町の方針を問うものです。



山本 優人 議員

事業者の地域貢献策 詰めるべき

町長 企業の知見を 活用して取組む

山本 「合同会社 八峰能代沖 洋上風力」が、八峰能代沖洋上風力発電事業者として選定された。30年間の協調等のための基金として28億円ほどの出捐金が想定されるが、出捐金だけでなく地域貢献を行うと



洋上風力の建設が予定される八峰能代沖

能であれば町としては他にない独自のプロジェクトで何か進めることを考えては。

町長

協議会へ提案する地域振興策について、他地域の事例等を参考にしながら町独自の地域振興策を取りまとめるとともに、この協議会を通じて、運転開始前から、構成企業や協力企業が持つノウハウやブランド力など民間の知見を活用しながら、地

域産業全体の振興に取り組む。

出捐金を一次産業の振興や地域福祉、子育て支援の充実など、幅広い分野に活用する。御所の台エリアの再構築事業についても、同地域を魅力ある観光地とするため、大手企業の人脈や経験、知見を生かしたアドバイスを得て、事業全体をプロデュースする人材を紹介してもらえよう強く要望していく。

儀式を

簡素簡略化し過ぎ

教育長 様々な方の 意見を求める

山本

学校の「働き方改革」、私は「働かない改革」をしているように思う。厳粛で威厳のある入学式・卒業式での町長や教育長の挨拶が省略されるなど、簡素簡略になりすぎていないのか。特に入学・卒業の儀式が簡素化されすぎることが危惧する。

山本

子ども園卒園式の卒園児衣装が羽織袴では華美過ぎないか。

教育長

服装は教育委員会や子ども園が決めることではないが、親の会に伝える。

教育長

学校行事の教育的価値を検討し、慣例的に行っている部分を止めることや挨拶については、いろんな方々の意見を伺いながら、よりよい式を目指して今後進めたい。



奈良 聡子 議員

適正化議論に 多数の町民参画を

教育長 意見参考に 検討する

奈良 5月に第1回学校適正化検討委員会が開催され、6月下旬から町民の意見募集としているが、会議の概要と町民の意見の公開及びその方法は。また答申後、どんな手順で学校の将来像を検討していくのか。

教育長 概要はその都度町のHPに掲載する。町民の意見は検討委員会に示し方向性を探る参考とし、公開の是非も協議する。適正化を図るべきと

の答申が出た場合、学校再編検討委員会が具体策や校舎の配置等を検討、その後は統合校建設改修検討会や町民説明会等を行う。

奈良

五城目小学校の移転・改築計画は、3年間で10回の全町民参加型ワークショップを重ね、「越える学校」というコンセプトで地域に開かれた全く新しい小学校に生まれ変わった。

本町も次の段階からはより多くの住民を意見交換の場に参加させ、子どもの未来と可能性を大きく開く学校づくりを考えることが大事ではないか。

教育長

意見を参考に住民への説明や意見を聞く内容を検討していく。

猫の飼い主への 指導必要

町長 ルール啓発に努める

奈良

猫の飼育放棄や多頭飼

いからの飼育崩壊が発生しており、野生化した猫の糞尿の臭いや鳴き声等に長年悩んでいる住民がいる。忌避剤の出費も負担になって

いる。衛生環境の悪化に加え、生活の質の低下やストレスによる健康問題を招く恐れもあり、飼い主への指導と住民の精神的・経済的負担への対策が必要だ。

町長

これまでも保健所と連携し、飼い主への適切な飼育方法等の指導を行ってきたおり、昨年度発生した飼育崩壊の苦情に対しては、保健所や動物愛護ボランティア団体と連携し、「公益財団法人どうぶつ基金」の財源を利用した不妊手術や里親探しを行った。HPや広報紙でペット飼育の基本的ルールの啓発に努めている。

奈良

忌避剤購入費用等について補助の考えは。

町長

にかほ市の去勢手術等に対する助成事業等、他の自治体等を参考に支援のあり方を検討したい。



問われる飼い主のモラル。注意喚起はしているが…

埴川 早急に改修を

町長 期成同盟会を 立ち上げる

水木

昨年7月14日の大雨は町に今までにない甚大な被害をもたらした。床下浸水や水道施設に被害が及び、土砂や流木により作付出来ない田んぼが22haある。埴大信田集落は大雨のた

びに孤立状態になり、被害を繰り返しており、早急な改良工事が必要と考える。

町長

埴川で多くの箇所被害が確認されたことから、河川管理者である



冠水した大信田に向かう道路



大雨当日の大信田地区

水木

期成同盟会を立ち上げ、早急に河川改修を。

町長

県の話では、昨年の大雨で秋田市の太平洋や五城目町の内川が相当な被害が出ており、そちらに重点的に予算を配分したいとしている。町でも、埴川だけでなく泊川など様々な河川で被害があり、早期

の復旧に取り組んでいる。埴川の改修については、地域の思いをしっかりと県に伝えていきたい。



水木 壽保 議員

県では、国の災害査定を受け復旧工事に取り組んでいる。町では埴川の改修について、早急に対応するよう県に対し要望している。

町民の安全で安心な暮らしを守るためにも、埴川の河川改修は必要であると認識している。

引き続き県に対し埴川の改修を働き掛けるとともに、整備に向けては地元住民の熱意と合意形成が重要であることから、改修に向けた期成同盟会を早急に立ち上げたいと考えて



伊藤 一八 議員

登下校時のクマ対策は

教育長 クマ除け鈴の

配付を検討

伊藤 今年に入り県内においてクマの出没が増えている。当町も年々、小・中学校周辺、通学路やスクールバスのバス停付近でのクマの目撃情報が多くなっている。特にクマの活動が活発

と言われている朝夕の登下校時の児童生徒の安全確保が急務と感じており、今後の安全確保についてどのような対策を行っていくのか教育長の考えは。

教育長 児童生徒の安全確保対策は急務であると認識している。町内各小・中学校では「危機管理マニュアル」を作成しており、その中に「クマ出沒時対応マニュアル」を明記している。

実際に出没した場合には、警察、教育委員会との情報共有、屋外活動の制限、緊急メールでの保護者への情報共有を行うほか、登下校時には保護者に対して送迎や見守りの協力をお願いしている。今後は通学路周辺のパトロールの強化や、児童生徒及び園児に対するクマ除け鈴の配付など、効果的な対策を検討する。



町ではクマ除け鈴を配布予定

効率的なスクールバス運行を

教育長

財政状況を考慮し受託業者と協議

伊藤 夏休み以降の土曜日スクールバス運行がなくなるが、保護者への説明をどのように行うのか。また、中学3年生の部活動終了後は下校時のバス運行が、授業終了後と部活動終了後の2本になるが3年生は未来塾が始まり1本目の利用者はほぼいない状況が続いている。部活動終了後の1本にすることでさらに経費削減できないか。

教育長 土日を含むスクールバス及び小学校の夏休みプール送迎バス運行を中止することとし、各校のPTA総会で説明したほか、全保護者に文章で周知した。

また、午後4時台の中学生バス利用者が少ないとの報告は受けているが、5台のうち4台は峰浜小と相乗り運行のため、削減できる台数は1台で削減効果は少ないと考えている。今後は町の厳しい財政状況を考慮し、削減効果がわずかであっても受託業者と協議し安全で効率的な運行を検討していく。

国保資格証明書の

廃止を

町長 総合的に判断見直し考えない

見上 短期証明書・資格証明書
の発行は40世帯で60人。窓口での医療費負担が100%となる資格証明書発行の世帯には支払い計画書を作成させると共に、減免申請を行い資格証明書の発行の廃止を考えないか。

そのためにも5枚の申請書をもっと簡素化し、同意書にある生計を一にしている家族全員の預貯金調べは問題との指摘もあり廃止を。

町長 資格証明書は考へていない。税金を納

名簿掲載拒否

可能を明確に

町長 広報で周知する

見上 町では自衛隊に対し、対象者名簿として18歳から22歳の氏名・住所・生年月日・性別を提供しているが、それを拒否できることを町

町では自衛民に周知を。

町長 ホームページで「八峰町自衛隊」と検索すると申請書が載っている。広報等でも周知する。

障がい者の雇用促進を

町長 国県就労施策を促進

見上 町内の就労支援A型事業者が廃業し関係者は衝撃を受けた。障がい者が働くことは生きていると同時に自立心につながる。官民一

体となつて就労支援を。八峰町の法定雇用率は守られているか。達成するための努力はしているか。

公有地周辺の

草刈り整備を

町長 町有地は計画的に実施

見上 八森海岸沿いは県立自然公園の指定になっているが、101号線沿いは草が覆いかぶさり危険で景観が悪い。茂浦の海岸線は草が生い茂り、小川川3本が隠れて見えない。公有地は早期の草刈り整備を。

町長 町有地周辺の草刈りは計画的に実施していく。県は年1回を計画しているが危険で景観が悪い箇所は草刈りを強く要望していく。



草で隠れた小川川



見上 政子 議員

議会全員協議会から

5月30日(木)と7月11日(木)に開催され、4件の協議と4件の報告を受けました。今回は3件の協議と1件の報告の内容をピックアップして掲載します。

用語説明 「全員協議会」

町が新しい条例や制度、重要な施策を定める時、議会(本会議)に提出する前に議員全員に事前説明し、意見を求めるときなどに開催されます。

【協議】(5月30日)

生後1か月の赤ちゃんの 健康診査費用を助成

町からの説明

乳幼児健康診査は、母子保健法により「1歳6か月児」「3歳児」の健康診査を市町村で実施する義務がある。また、「3〜6か月頃」「9〜11か月頃」についても全国的に実施されている。こうした中、出産後から就学前まで切れ目ない健康診査を実施するため「1か月児」「5歳児」の健康診査の費用が公費助成となる。八峰町はすでに5歳児集団検診を実施しているので、1か月児の病院での個別検診への助成を新たに行う。

【補助率】国1/2、町1/2
【補助単価】4000円/人

【報告】(5月30日)

これからの学校について 町民からも意見を募集

町からの説明

学校の適正な規模や配置、教育環境について話し合う「学校適正化検討委員会」の第1回目を5月24日に開催した。

話し合いの中で、「町民は町の少子化や児童生徒数の減少のスピードを知らない人も多いのでは。」「資料を周知し、町民からも意見を募集すべき。」という意見があり、広報に掲載し町民から意見を募集することにした。

議員から町へ(質疑・意見)

質疑 適正化検討委員会の設置期間と開催回数は。

答 委員会の設置期間は来年の3月31日まで。開催回数は全3回を予定。協議が必要な場合は追加開催する。

広報はつばう7月号の4〜5ページに、学校適正化検討委員会の報告や、令和12年度までの児童・生徒数の予想推移が掲載されています。

町民の皆さまからのご意見は、教育委員会、文書またはメール、Googleフォームから受け付けています。

【報告】(5月30日)

大雨災害の残土を旧八森中 グラウンドと高野々海岸へ

町からの説明

旧八森中学校のグラウンドを昨年7月の豪雨災害の残土処分地として活用したい。盛り土は校舎敷地と同じ高さまで、約24000立方メートルの搬入を計画。

残土の搬入は山側のビューシーラインから行い、騒音や粉じんに配慮し国道からの乗り入れは行わない。

地元住民などへの説明については、4月15日に椿台自治会長と社会福祉協議会長へ説明。6月1日に住民を対象とした説明会を開催する。

高野々の海岸線は、管理者である山本地域振興局から旧能代カントリークラブの海側において、海岸線が波によって浸食されている状況にあり、災害発生残土を投入してよいとの連絡を受けた。今後、振興局で立ち合いを行い残土を投入予定。

議員から町へ(質疑・意見)

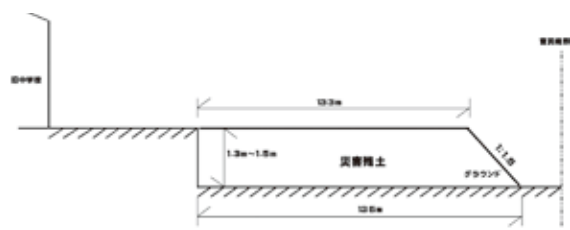
質疑 旧八森中学校グラウンドのハザードマップで一部がイエローゾーンになっている。他に候補地はなかったか。

答 このポリウレムの残土が入る町有地がここだった。イエローゾーンは、ビューシーラインの上の山が崩れた場合を想定したもの。

令和3年7月に静岡県熱海市で



浸食が進んでいる高野々海岸線



旧八森中学校グラウンド盛り土予定

発生した土石流災害を教訓として危険な盛り土を規制する法律が令和5年施行されているが、現在秋田県内に指定区域はなし。

質疑 土砂の流出があった場合、土嚢で防げるのか。

答 通常の土嚢で防げない場合に1トン土嚢の設置も可能とするため、境界から2メートルのスペースを空けて盛り土をする予定。

質疑 高野々の海岸線は昔は車を駐車できるくらいあったスペースが、風力発電のすぐ近くまで浸食されている。残土投入だけでなく、県と協議して、消波ブロックなどを設置すべき。

答 県に離岸堤や護岸などの対応が必要と要望しているが、すぐ対応することは難しく、まずは町で残土の投入をしたい。引き続き県に対策を要望する。

【協議】(7月11日)

巡回バスを乗り継ぎなしで 能代市まで運行

町からの説明

現在、巡回バスを利用し能代市に行くには「道の駅みねはま」で秋北バスに乗り換えが必要であるが、乗り換えなしで能代市まで運行する。ただし行きは降車、帰りは乗車のみ。

【変更点1 ルート】

能代市内のバス停は「能代厚生医療センター」「いとく能代北店」「能代バスステーション」の3か所。

また、利用実績の無い「本館」と、閉庁日である土曜日の「役場前」をルートから外す。

本館から巡回バスに乗る場合は、デマンドタクシーで「古屋敷」バス停まで行き乗り換え。費用は町が負担。

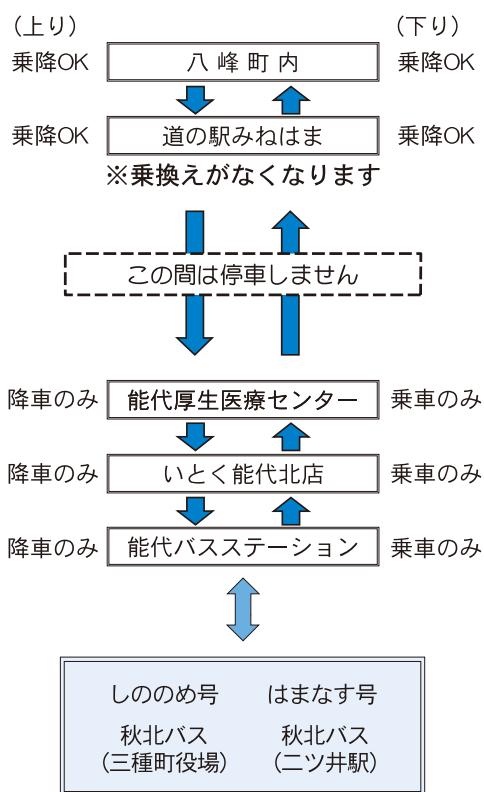
【変更点2 運行時間】

バスステーションから「しののめ号」「はまなす号」「三種町行き」「二ツ井行き」のバスに乗り継ぎしやすい時間設定にしたい。また、ルート変更により2便目のバス時間を変更予定。

【変更点3 料金】

これまで巡回バスの運賃は1000円(無料区間あり)だったが、能代市まで運行することにも

巡回バスルート改正案



ない、次のとおり変更。

○町内での乗降者 一律1000円
○能代市での乗降者 一律3000円

議員から町へ(質疑・意見)

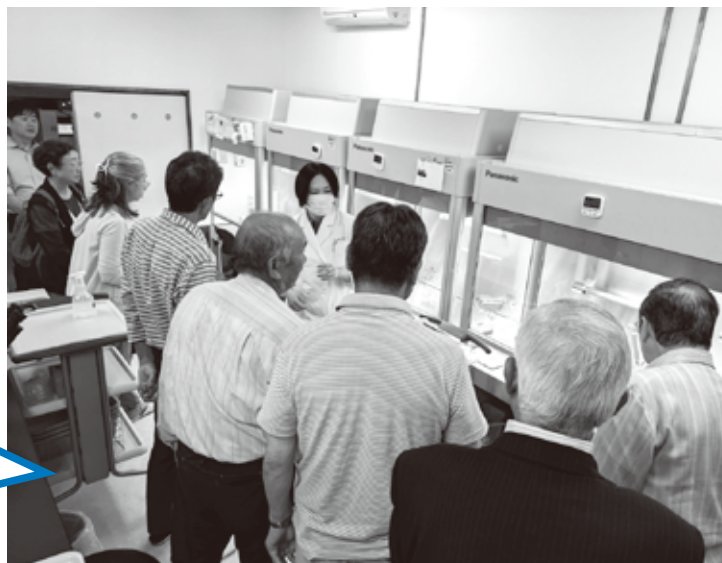
質疑 子どもの料金は。

答 安い運賃設定なので、子どもも同額。年間を通してみると子どもの利用も若干ある。

質疑 利用者にとって便利になると思うが、現在より予算が増えるのか。

答 利便性を考えると車両と運転手を増やす必要があり、事業委託しているバス会社への委託料は450万円程度増額する見込み。

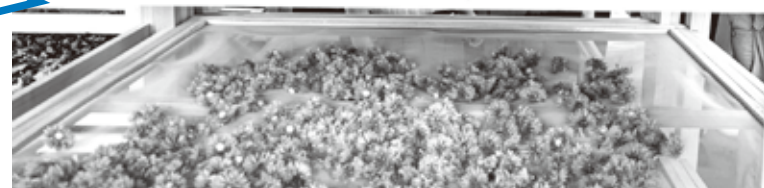
7月4日、藤里町を会場に県北地区町村議員研修会が行われ、八峰町・藤里町・三種町・上小阿仁村・小坂町の町村議員52名が参加しました。2010年から藤里町に研究所を開設している、大手化粧品メーカー株式会社アルビオンの小平所長から、化粧品原料の製造やワイン製造による地域振興への取り組みについて説明を受けました。



藤里町に研究所を開いた決め手は、白神山地から湧き出る「超軟水」。金属イオンの少ない水は、化粧品の配合に最適とのこと。水も、地元の人が気が付かない資源のひとつと分かりました。



化粧品原料となる植物を有機栽培し、収穫・加工・成分抽出までを一貫して藤里町で行っています。自社農場では、農業を学んだ地元の若者を雇用しているそうです。



同じ県北でも、他の町の議員と集まる機会は少なく、議員同士の交流を深めることも大きな目的です。規模の近い町村は、抱える問題も共通していることが多く、お互いの知見を交換し、議会運営に活かしたいと思います。

適切な行財政運営に向けて

(当局から予算審査付帯意見回答)

3月定例会で予算特別委員会から、町当局に提出した付帯意見についての回答です。
(※回答は令和6年5月15日現在のもの)

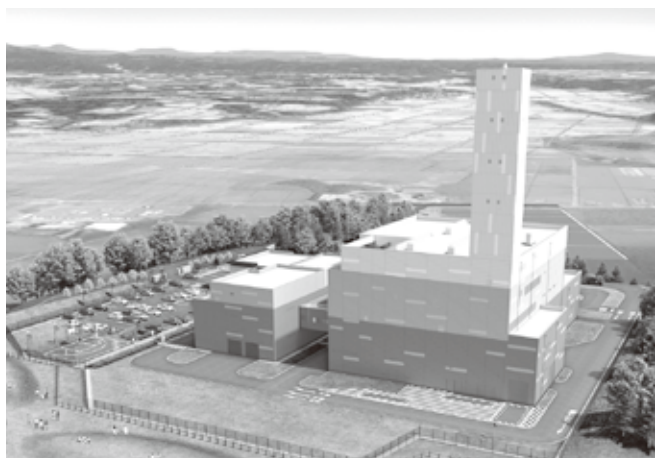
意見1

健全な財政運営について

令和6年度予算においては、一般廃棄物処理施設整備事業等の負担増により町の借金となる町債が大きな伸びとなり、次年度も同様の状態が想定される。そのような中、過疎債には上限があり、他の有効な財源となる合併特例債の活用期限も令和7年度までとなっている。予算編成にあたっては、将来を展望した計画的な行財政運営により、財政の健全化に努めること。

回答

一般廃棄物処理施設整備事業に伴う負担金については、令和7年度までとなっており、令和7年度の負担金については、令和6年度より2億円強がプラスとなる見込みとなっております。また、合併特例債の発行可能期限については、令和7年度までとなっており、残りの発行可能額として、約18億円が活用できる見込みとなっており、有効な活用方法を検討してまいります。



能代山本広域市町村圏組合で建設中の一般廃棄物処理施設のイメージ図。工事費総額134億4,083万4千円のうち、八峰町の負担は約9億2,867万9千円。

意見2

公営企業会計について

これまで簡易水道事業会計及び下水道事業会計に対しては、赤字分を上乗せして一般会計予算からの繰出しを行っていた。新年度予算ではそれをやめ、赤字額を明確にし水道事業に対する計画を立てたいとの説明がされた。多額の赤字決算となるが、将来の水道事業の在り方について充分な検討・対策を求める。

回答

企業会計に対する一般会計からの繰入の判断は自治体の裁量によるため、これまでは基準内のほか、基準外の繰入も行ってきました。しかし、基準外の繰入は普通交付税の対象とならないことや、一般会計の財政事情を考慮し、令和5年度からは基準内繰入のみとしたところ。そのため企業会計は今後大幅な赤字決算となりますが、経営の実態としては実情に即したものとすることから、今後の水道事業の在り方について、中長期的な視点から将来ビジョンを策定するため、令和6年度において経営戦略策定業務に取り組み、当面は、赤字の補填として内部留保資金を充当し対応していくこととなりますが、いづれ資金不足に陥る可能性はあることから、企業会計として安定的な運営を行うっていくためには、内部留保資金の保有状況を注視するとともに、一般会計から繰入や料金改定について検討しながら、持

持続可能な経営に努めていきたいと考えております。

意見3

消波堤延伸について

令和6年度の予算に消波堤延伸の予算が計上されている。令和5年度の静穏域消波堤延伸に係る調査の結果ができた第3議会に報告すること。

回答

令和5年度の静穏域消波堤延伸に係る調査につきましましては、秋田県が実施する事業であり、調査が冬期間に行われたことからその事業の一部は令和6年度に繰越となっております。秋田県から調査結果が示された際には、漁業者に対して丁寧な報告をお願いするとともに、議会への情報提供に努めてまいります。

今月の表紙

カミツレの収穫



6月、満開のカミツレ畑は爽やかな香りでいっぱいでした。丁寧に摘み取られた花は、自然乾燥などの工程を経て生薬となります。

9月議会定例会のお知らせ

会期 (予定)	9月3日(火)	本会議1日目	行政報告	議案審議ほか
	9月4日(水)～10日(火)	決算特別委員会	(令和5年度の決算)	
	9月11日(水)	本会議2日目	一般質問	
	9月12日(木)	本会議3日目	一般質問	※休会の場合あり
	9月13日(金)	決算特別委員会の審査報告、議案審議ほか		

※開会は10時からの予定です。終了時間は議案数、一般質問者数、進行等によるため未定です。
※議会では町民の生活に直結した重要な問題が審議されております。どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。また、団体での傍聴を希望する場合は議会事務局へご連絡ください。
※傍聴は本会議のみで受け付けています。
(問い合わせ：議会事務局 76-4607)